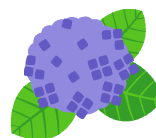


かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育推進担当

TEL：0556 22 8154

HPでも見られます：URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-mk/80990243338.html>

所在地：南巨摩郡鯉沢町771-2

FAX：0556 22 8144

ホームページの作成はお任せ！～授業を生かして街の活性化に一役～

- 増穂商業高校情報処理科2年生の取組 -

増穂商業高校では、地元商店街のいろいろな商店のホームページ作成に取り組んでいます。これは、情報処理科2年次に履修する「ビジネス情報」の授業の一環として行われているもので、今年度で4年目を迎える活動です。5名の先生方の指導のもと、生徒総勢67名が、3～4人のグループに分かれ、増穂町の各商店を担当します。今年度は、5月11日（金）に初めて担当の商店を訪問。その様子をちょっと覗いてみました。

いざ、出陣！

当日はまず、情報処理科2年生全員が一堂に会し、活動の手順、言葉遣い、服装のチェック等担当の先生方から丁寧な事前指導を受けました。「力を入れるのは、やはり言葉遣いや商店の方とのコミュニケーションのとり方の指導」とおっしゃるのは商業研究主任・藤田雅仁先生。そうした綿密な準備のもと、商店主の方々の協力も得て、教室で学んだことが実際の社会で生かせるということを体得するのです。さらに、外部の人と折衝してその要望に応えるにはどうしたらいいか、ということをお勉強するいい機会にもなっているようです。

バトンタッチ

初日は、まず昨年度担当した3年生が、新2年生を商店に案内し、お店の方に紹介します。まだ不安な2年生ですが、無事3年生からの引き継ぎ完了。そしてさっそく取材開始です。



「お店の特徴を生かしたHPを作るのは大変だったけど、でき上がったときの達成感は最高！」(昨年度活性化館を担当した3年生)

「高校生が地元のことに興味をもつ意義は大きい」と語る活性化館の伊藤さん。懇切、丁寧に説明していただきました。お茶まで出していただいて、ご協力に感謝！です。



バージョンアップ

地域との交流を図り、地域商店の発展・活性化に寄与する。学校での学習を実社会で役立てる。社会人との望ましい接し方を学ぶ、等の目的で始まったこの事業も4年目となる今年度は、従来のやり方を見直す“ゆとり”も生まれてきました。自主性を生かしつつも指導すべき点は疎かにしない、という方針のもと、商店選びや班編成に希望制を取り入れたのも今年度の新しい試みです。その結果、生徒たちの意欲もより高まるのではないのでしょうか。

さて、この日の初顔合わせ・打合せから始まって、各グループごとにさらに商店訪問・電話等での取材を重ね、いよいよHP作りです。7月更新を目指して、約20時間の授業時間が割り当てられています。昨年度よりさらに素晴らしいHPが完成するよう、2年生の皆さん、頑張ってください。そしてこれをお読みになっている皆さんも、ぜひ増穂町商工会加盟商店のHPを覗いてみてくださいね。



お菓子屋さんの担当希望者は多く、熾烈な競争(?)を勝ち抜いてめでたく「花わらべ」さんを担当することになった3人。ソフトクリームのおまけ付きの「お祝いお仕事」でした。

「かけはし57号」の紙面

- p.1 増穂商業高校、商店街のHP作成の取組
- p.2 水谷修氏講演会～「こどもたちへ」～
- p.3 懐かしい学舎はいま～早川町3～
- p.4 「おススメ!この本」～特別支援教育～

「いいんだよ」-夜回り先生から子どもたちへ-

～ 富士河口湖町で水谷修氏の講演会開催 ～

去る5月17日(木)、富士河口湖町民体育館において、夜回り先生として知られる水谷修氏の、「子どもたちへ-夜回り先生からのメッセージ」と題した講演会が開かれました。これは、富士河口湖高校同窓会記念事業として同実行委員会が主催したもので、同校生徒、同窓生の他に、はがき・ホームページを通じて申し込んだ計約2,000人が参加。水谷氏が登場して、富士河口湖町とご自身の関わりを披露した冒頭から、聴衆は早くも「水谷ワールド」にどっぷり浸かり、最後まで熱のこもった講演に聴き入りました。以下に講演内容の一端をつづります。



(写真提供：富士河口湖高校)

* 不眠不休の日常

51歳になる私(注：水谷氏)だが、人の2倍、3倍の時間を生きている。なぜなら、夜回りや、メールへの返信等で夜も寝ていないから。ここ2日間も一睡もしていない。

* 家庭は憩いの場でなければならない

今の世の中は攻撃的。「子どもは10褒めて1叱れ」というのに、家庭においても、今は10叱って1も褒めていない。家庭はもはや憩いの場ではなくなっている。核家族化も日本の子どもが病む一因。金曜、日曜は子どもにとって「魔の日」、子どもの自殺が最も多い日である。

* 追いつめられた子どもたちは？

せかされ、叱られ、家庭・学校から追いつめられた子どもたちの解決策は4つ。
いじめに走る。
夜の世界に入る。
不登校、ひきこもりになる。
不眠症になり、心を病む。
特に心優しい子は、自分を責め、すべて自分で抱え込もうとする。そして、仮想現実の世界に救いを求め、まやかしの優しさの夜の世界に落ちていく...



* リストカットは生きるため

自傷行為は心の叫び。パンパンになった心のガス抜きをしているのだ。本当に死にたくてリストカットするわけじゃない、むしろ生きるための行為なのだ。だから無理にやめさせようとするのは危険。なぜ自傷してしまうのか、その背景を探し出すことこそ重要。

* 「いいんだよ」

不完全な子どもたちの犯した罪をなぜ責めるのか。いじめている子を出席停止にするなどという解決策は間違っている。教育の根底に流れるものは、「待つこと」と「許すこと」。

「いいんだよ、過去のことは。これからのことを考えよう」。このことばこそが子どもを救うメッセージ。

* マサフミとアイ

私は今までに何人かの若者を死なせてしまった。マサフミもその一人。シンナー中毒をなんとかやめさせようとしたが、結局できず、幻覚でダンプカーに飛び込んで死んでしまった。そのころの私は、薬物中毒は愛で治せると思っていたが、そうではなかったのだ。薬物依存症は専門医の力を借りなければ治せない。

一方アイは家に居場所を失って家出、売春の末、エイズに感染・発症して、やせ細って死んでいった。

子どもたちの花の種は、たくさんの愛を受けた暖かい昼の光の中でしか咲かないのだ。

* 命は受け継がれたもの

命は自分一人のものではない。今生きているということは、命の糸が絶えることなく織られてきたということ。あの沖縄の「ガマ」の中でさえも生き延びた赤ちゃんの命があって、今の私たちがいる。いわば託された命なのだ。

一人に裏切られたからといって、一人の友人を失ったからといって、絶望してはいけない。信じて、人とのつながりを求めてこそ、明日は来る。

* 笑顔、あいさつ、声かけ

笑顔のあるところには魔の手はやって来ない。笑顔を決やさないためには、あいさつ、声かけが大切。子どもからお年寄りに、大人から子どもに優しさを配ってみよう。



(講演会後のサイン会にて) 講演後の会場は満場の拍手鳴りやまず、といった状態でした。サイン会に並んで書いてもらったことばは「いいんだよ」。外に出ると、折からの雨もあがり、雲の切れ間から富士山も顔を覗かせていました。大事に抱えた本のタイトル、「あした笑顔になあれ」さながらに、子どもたちに太陽と笑顔をもたらすのが大人の責務、との思いを強くして、帰途につきました。

早川町内に残る14ヶ所の廃校跡のうち、前2回で紹介した6ヶ所以外を紹介します。

【硯島(すずりしま)小学校、中学校】

硯島小学校は明治7年に草塩学校の分校として誕生しました。明治17年には硯島尋常小学校として独立し、昭和58年には閉校し早川南小と統合しました。

硯島中学校は昭和22年に硯島村立硯島中学校として硯島小に併置して創立されました。昭和26年には小学校に隣接して独立校舎が建設され、昭和58年には閉校し、都川中と統合して早川中になりました。

校地は馬場地区の雨畑湖沿いにあり、校舎は撤去され温泉・宿泊施設のピラ雨畑が建てられています。校庭やプールはそのまま残り、校庭の脇には閉校記念碑や卒業記念碑が残っています。



硯島小学校全景
硯島中学校全景
...いずれも閉校記念誌より
雨畑湖の対岸から見た
跡地

硯島中学校校歌
秋山晴時 作詞
保坂梅芳 作曲

一、山々に 溪々に
もえる 若葉が
天そそく 光りをあびて
かがやくところ

二、雨畑の 水すみて
もみじ 明るく
大空を 流れる雲が
夢よぶところ

三、朝夕に あおぎみる
法のみ山に
今もなお ひじりの教え
ゆるがぬところ

四、なつかしい ふるさとの
あすをになつて
高らかに 母校のさちを
いざや歌おう

硯島小学校校歌
大倉 貢 作詞
清水吾郎 作曲

一、南アルプス 色はえて
雨畑川の 瀬はおどる
この山川に はぐくまれ
正しく清い心もち
伸びるわれらだ ともどもに
手をとりあつて 進もうよ

二、金山跡も なつかしく
茂る茶の葉の 黄緑に
恵み豊かな 山のさち
郷土の明日を肩にして
学ぶわれらだ ともどもに
励ましあつて 進もうよ

三、文化のにおい かぐわしい
硯の島の伝統に
自由と平和と真実の
輝く未来胸にして
つとめわれらだ ともどもに
母校のほまれ あげようよ

【硯島小学校・中学校室畑(むろはた)分校】

硯島小学校室畑分校は、昭和10年に、中学校の室畑分校は、昭和22年に創立され、昭和27年には校舎も新しく建てられました。昭和48年には閉校して硯島小、硯島中と統合しました。

校地は室草里(むろぞうり)集落の北端の井川雨畑林道から少し雨畑川に下った場所にありました。現在でも、校地はそのまま残っていますが、半ば朽ちかけた校舎も、鉄棒などが残る校庭も、背の高い草に覆わ

れていて容易に近づけません。



昭和30年代の生徒達...硯島閉校記念誌 草に覆われた校地

【硯島小学校大島(おおしま)分校】

大島分校は昭和19年に創立されました。昭和29年には新しい校舎も建てられましたが、道路の整備が進み、昭和41年には閉校し本建小と統合しました。

校地は上大島集落の雨畑橋の北詰にありました。閉校後校舎は早川町森林組合の事務所として使われていましたが、その後撤去されて地区の多目的集会施設が建てられています。



事務所だった頃の校舎...森林組合蔵 現在の跡地

【西山(にしやま)小学校】

西山小学校は明治6年に湯島学校として創立されました。その後、昭和8年には西山尋常高等小学校と改称されました。昭和52年には閉校し、三里小学校と統合して早川北小学校となりました。

校地は上湯島集落入り口、慶雲橋の北詰にありました。校地はそのまま残り、町立子どもの村として利用されています。校舎は解体され、跡地には西山地区公民館が建てられ、校庭の端には、小学生が作ったモニュメントや閉校記念碑、二宮像などが残っています。



校舎全景...百年誌より

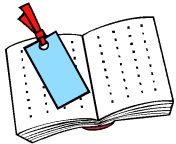
旧校庭に残る遊具類

西山小学校校歌
秋山晴時 作詞
渡辺正巳 作曲

一、あおく白根の 峰々に
まぶしく光る 白雪の
けがれぬ姿 われら われら
高い理想だ 大きい夢だ
さあ さあ 大きな夢
手をとつて共に進もう

二、岩にくだける 早川の
早瀬におどる 若あゆみに
みなぎる命 われら われら
もえる血潮だ 正義の歌だ
さあ さあ 正義の歌
肩組んできょうも進もう

三、歴史は遠い 湯の里に
自然のめぐみ 新しく
ひらく力だ われら われら
平和の風よ 文化の花よ
おお おお 文化の花よ
いつまでもここに輝け



オススメ!この本

テーマ：特別支援教育

大上段に構えてしまいましたが、今回登場する本は漫画本です。発達障害のある子どもたちを理解し、ともに暮らす社会を目指す上で、少しでも参考になれば、と特別支援教育の入門書としてお勧めの一冊を紹介させていただきます。

『光とともに... - 自閉症児を抱えて - 』

ひかり

戸部けいこ著 秋田書店刊

...この漫画の主人公・光（ひかる）くんは自閉症児です。「自閉症」がどのような障害なのか一般的にはまだ理解されていない部分が多いのではないのでしょうか。私自身も数年前、光くんのような子どもたちと接する職場に異動したとき、どう関わったらいいのか、何をしてあげられるのか、とても戸惑った経験をもっています。さまざまな書物をひもとく中で、たどり着いたこの本は、自閉症に対して無知だった私にとって、いわば「バイブル」と言っても過言ではありません。

テレビドラマにもなったので、ご覧になった方もいると思いますが、原作の方は1巻から10巻まで発行されていて（最新刊の11巻もまもなく店頭に並ぶ予定です）、光くんの誕生から中学生に成長するまでを描いたシリーズです。

丁寧なリサーチや取材に基づいて、自閉症の子どもたちの世界が、あたかもその子の視点を通して見るようにいきいきと描かれています。またそうした子をもつ親の葛藤と成長、周囲のさまざまな関わり方なども手に取るように伝わってきます。さらに背景の知識としての法令や特別支援教育の現状等も取り上げられています。

さて、内容にも少し触れておきましょう。

我が子が生まれた朝、「世界中が喜びでキラキラ輝いている」、そう感じた幸子ママでした。

しかし成長するにつれ、他の子どもとの違いに漠然と気がついていきます。専門機関の診断は「自閉症」。そこから幸子ママの苦悩が始まります。「そんなはずはない」という拒絶の気持ちと「自分の育て方のせいなの？」と自分を責める気持ちにさいなまれます。それよりも辛いのは、周囲も、そして夫でさえも理解してくれない現実。そんな中、幸子ママの協力者も現れて...。第一巻のクライマックスは、光くんの卒園式で、一人一人の卒園生が将来の夢を語る場面。コミュニケーション手段としてのことばをもたない光くんに代わって、幸子ママが述べたひとことは...

続きはぜひお読みください。学校の図書館にも備えてほしいシリーズです。



その他にこんな絵本もお勧めです。

『どなかんじかなあ』

中山千夏・文 和田誠・絵 自由国民社刊

...ひろくんのともだちのまりちゃんは目が見えない。そこでひろくんは目を閉じてみる。「みえないってどなかんじかなあ」と。そして新たな発見をする。三番目に登場するともだちのきみちゃんがいう。「いちにちじいとうごかないでいてみたの。どなかんじかなあ、とおもって」。そう、ひろくんは実は...

いわゆる“障害”というもののとらえ方を改めて考えさせられる一冊です。おなじみ和田誠氏の絵もほのぼのとした空気を運んでくれます。

さらに、関連図書を1冊にまとめて紹介した本も。

『特別支援教育のための100冊』

愛知教育大学教育実践総合センター

特別支援教育プロジェクトチーム編 創元社刊

...ADHD、LDなどについて学べる“道しるべの”書籍を100冊推薦し、内容を紹介しています。

ハッスル！シャッフルボードに囲碁ボール

- 山梨ことぶき勸学院だより -

5月25日、市川三郷町立市川大門体育館において、山梨ことぶき勸学院西八代学園の軽スポーツ教室が開催されました。種目は、シャッフルボード（円盤をキューと呼ばれるスティックで得点エリアに押し込む、一種の陣取りゲーム）と囲碁ボール（五目並べの要領で、スティックでボールを打って並べ、得点を競うゲーム）。あいにくの雨にも拘わらず、約40人が参加。体育館全体が熱気と歓声に包まれました。参加者からは、「初めての種目だけれど、とても楽しかった」、「勸学院の日が楽しみ」とはずんだ声が聞かれました。



熟年パワー、まだまだ若いモンには負けてませんヨ。

熟年パワー、まだまだ若いモンには負けてませんヨ。

インフォメーション

☆ふるってご参加ください☆

◎市川三郷町立図書館まつり

6月24日（日）13:30-15:00

市川大門町民会館2F講堂

...影絵、パネルシアター、タングラム、絵本の読みきかせ等あり。

◎峡南地域教育フォーラム

in南ブロック

7月14日（土）14:00-16:30

身延町総合文化会館

...「東海地震に向けての備えと中越地震から学びとること」に焦点をあてて開催します。

（北ブロックは7月28日開催です。

こちらもよろしくお祈りします。）